

食品衛生情報 ふくおか

発行所
公益社団法人 福岡県食品衛生協会
電話 092-472-4803 FAX 092-472-6613
e-mail:honbu3@fukuokaken-shokkyou.jp

令和8年2月24日(火) 2025年度第11号
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目19-17
トーカン博多第5ビル 705号
ホームページ: <http://www.fukuokaken-shokkyou.jp>

～食品衛生指導員第二次研修会の開催報告～

食品衛生指導員の資質の向上を図るため、標記研修会を開催しました。

まず、株式会社サニックスの坂本光先生及び亀甲裕仁先生から「指導員の為の食品衛生指導で使える実践講座」という演題で、害虫駆除と食品衛生管理についてご講演いただきました。続いて宗像・遠賀支所の上田一幸指導員及び南筑後支所の相島敏博指導員が参加された、「食品衛生指導員全国研修会」の伝達研修がありました。

1. 開催日時 令和8年2月17日(火) 13:30～15:30
2. 開催場所 福岡県中小企業振興センター(福岡市博多区吉塚)
3. 研修内容 (受講者165名)

講演1「指導員の為の食品衛生指導で使える実践講座」

(概要) 害虫とくにゴキブリは、見た目の気持ち悪さ以上に、飲食店等へ深刻な衛生被害をもたらす。まずは、ゴキブリの生態を知り、ゴキブリが残すサインを見つけて、被害を最小限に抑えるため施設内の環境対策講じる必要がある。具体的には、①ゼロ・フード(餌をなくす)、②ゼロ・ウェット(水場をなくす)、③ゼロ・アクセス(侵入・潜伏場所をなくす)といった対策が有効となる。

講演2「令和7年度食品衛生指導員全国研修会に参加して」

(概要) 指導員活動を持続可能な事業とするため、①後継者を育成する ②有意義な研修会を受講する ③事業者のニーズに対応する ④消費者の食品衛生啓発に貢献する ⑤行政との連携・協力を推進する ⑥指導員が意欲を持って活動するという課題について討論した。



《食品営業賠償共済「あんしんフード君」について》

～安い掛金で大きな補償！～

公益社団法人日本食品衛生協会では各種共済事業を運営しています。消費者の求償意識も以前より格段に高揚しています。会員になって加入すれば、**①掛金が安い②特別費用の支払い③火災見舞金制度**といった特典があります。とくに「あんしんフード君」は、**食品に起因する事故のみならず業務上の過失に起因する事故や預かり物にかかわる事故など、食品営業者が抱える賠償リスクをトータルに補償する制度**です。食品営業賠償共済に加入することで、万が一の際に被害者救済と消費者保護につながることはもちろんですが、さらには会員自身の事業経営の安定を図るうえでも大いに役立ちます。

★年間売上高**3,000万円**以下の場合、

一般飲食店は年間掛金8,500円で1億円まで補償！

製造業は年間掛金5,500円で1億円まで補償！



「あんしんフード君」による支払事例(令和6年以降)

場所・事故分類	事故の概要	被害者数	支払金額
さいたま市 食中毒	提供した弁当によりノロウイルス食中毒が発生した。	123名	192万3千円
東京都 施設賠償事故	店舗の給湯管から漏水し、階下の店舗を汚損した。	—	101万円
静岡県 受託物賠償事故	従業員がお客様の靴を並び替え、別のお客様がその靴を履いて帰ってしまい紛失した。	—	2万4千円
福島県 異物混入	提供した弁当にボルトが混入し、喫食したお客様の歯が欠損した。	1	44万円
山口県 リコール	製造したジャムにカビが混入し、被害発生のおそれがあり自主回収を行った。	—	435万1千円

(公社)日本食品衛生協会発行「食と健康」より抜粋



公益社団法人
福岡県食品衛生協会